

九州・沖縄地区の農・林・水産業の倒産、過去最多を更新

倒産件数は 2000 年以降、過去最多を更新

九州・沖縄「農・林・水産業」倒産動向調査（2025 年）



本件照会先

石倉 達也（調査担当）

帝国データバンク

福岡支店情報部

092-738-7779(直通)

tdb.fukuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/01/30

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025年の九州・沖縄地区農・林・水産業の倒産件数は 28 件で、2000年以降、最も多かった 2024 年の 25 件を上回り、過去最多となった。負債総額は 50 億 9,200 万円となった。市場の需給によって変動しやすい販売価格に対して、燃料や肥料などの資材価格の高止まりに加え、慢性的な人手不足への対応で、人件費などは上昇が見込まれることもあり、農・林・水産業の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。

帝国データバンク福岡支店は、2025 年の九州・沖縄地区「農・林・水産業」の倒産発生状況について調査・分析を行った。

集計期間：2000 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日まで

集計対象：負債 1,000 万円以上・法的整理による倒産

九州・沖縄地区「農・林・水産業」の倒産、過去最多を更新

九州・沖縄地区「農・林・水産業」の倒産が、3年連続で増加し、2025年は28件となり、集計基準を変更した2000年以降で最も多かった2024年の25件を上回り、過去最多を更新した。負債総額は50億9,200万円となり、1件あたりの負債額は1億8,100万円と近年の傾向である小規模倒産が中心となった。

業種別では、『農業』の23件(前年18件、前年比27.8%増)が最多、『水産業』5件(同3件、66.6%増)が続いた。『林業』は0件(同4件)で前年から4件減少した。

業種を細分類でみると、猛暑による育成不良などが影響した「野菜作農業(きのこ類の栽培を含む)」の6件(同5件、同20.0%増)が最も多く、「施設野菜作農業(きのこ類の栽培を含む)」3件(同2件、同50.0%増)、「酪農業」3件(同3件、同横ばい)、「養鶏業」3件(同4件、同25.0%減)が同数で続いた。

県別では、「鹿児島県」の7件(前年6件)が最多、次いで、「福岡県」6件(同3件)、「熊本県」5件(同1件)、「大分県」4件(同5件)、「宮崎県」3件(同5件)、「沖縄県」3件(同0件)となり、「佐賀県」(同0件)、「長崎県」(同5件)は、発生がなかった。

市場の需給によって変動しやすい販売価格に対して、燃料や肥料などの資材価格の高止まりに加え、慢性的な人手不足への対応で、人件費などは上昇が見込まれることもあり、農・林・水産業の倒産は引き続き高水準で推移するものとみられる。

